

6月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
梨栽培の担い手 石原 恭

行った主な活動

最終摘果

最終摘果作業を行った。果実の形や大きさ、茎の状態などを確認しながら、収穫まで残す果実を選び、不要な果実を取り除いた。最終摘果は収穫する梨の品質や大きさに大きく影響する重要な作業なので、樹全体のバランスを見ながら、一つひとつ慎重に判断して作業を進めた。



苗木の防除および草刈り作業

来年の就農を見据え、昨年假植えした苗木の防除作業と、苗木周辺の草刈りを行った。病虫害の発生を防ぎ、健全な生育につなげるため、苗木の状態を確認しながら防除を実施した。また、苗木の周囲に雑草が繁茂すると生育の妨げになるだけでなく、管理作業もしづらくなるため、定期的に草刈りを行い、生育環境を整えた。



活動を行った感想など

今年は病気や虫による被害を受けた果実が少なかったため、大きさや形を中心に判断することができ、例年よりスムーズに摘果作業を進めることができた。苗木の管理作業では、台風の影響で枯れてしまったものがあつた。支柱で固定していたものの、強風によって地面と平行になるほど倒れてしまっていたため、自然災害の影響の大きさを改めて実感した。今後は支柱の固定方法や点検のタイミングについても意識し、苗木を守るための対策を考えていきたい。

今後の目標など

8月から本格的に始まる収穫・販売に向けて、収穫適期の見極めや選果、出荷作業などの流れを改めて確認し、一つひとつの作業を確実に身に付けていきたい。

また、来年の就農を見据え、就農計画の作成についても具体的に進め、栽培だけでなく経営面についても理解を深めながら準備を進めていきたい。

